

鳥狸山兔

～謎生物による...による...?～



# 花千鳥

はなちどり



うぐいすやすずめほどの大きさで

体に花が生息している。

花の種類は個体によって異なる。

尾が長くなると、もうすぐ花が枯れる。

花が枯れても新しく生えてくるので問題ない。

花が咲く時期は、梅であれば春、紅葉  
であれば秋…など。

\*命体長… 手にのるくらい

\*命体重… 花が生えていると  
軽くなる

小鳥ほどの重さ

\*生息地域… 比較的暖かいところに

多く住んでいる



若い娘たちがかわいいからという理由で  
花千鳥を捕まえました結果、一時期出てこなくなる  
という事件がおこった。  
花千鳥を捕まえた者には罰金が待っている。

ただ、捕まえたとしても、花千鳥は人が生活する中で

近くにいる場合、大幅に寿命が縮まるという

欠点があるので、かわいがれるのはせいぜい

1~2ヶ月だろう。

花千鳥は自然の中でないと満足に

生きていくことができないのだ。



# 酒狸

さかだぬき

物体というより靈体だけと生き物。

酒が入っているものであれば何でもアリ(住みつく)という謎が深い生き物。

酒瓶だろうが酒樽だろうが内容量で大きさが変わる。狸と呼ばれてはいるもののイタチにもカワウソっぽい感じにも見えたりする。

酒狸が入っていた酒は、おいしくないと言われているが、實際はあまりとか全く変わらない。人間がそんなものだと認識しているからおいしく感じるのである。

ちなみに、酒狸が入っていたかどうかは、酒を開けたときにすると出てくるので普通にわかる。出てきた酒狸は少しの時間、酒の周りを漂うと空気中に消えてしまう。



- **体長**… 容器が巨大であれば巨大にならし、小さければ小さくなる…といった具合。
- **体重**… 体重は大きかろうと小さかろうと靈体なのでない。
- **生息地域**… 暖かいところにいるのは多くない。北の方に多く存在する。



# 飴リ落とし

かざりおとし

姿がはっきり見えない、小さい女の子の靈。

全体的に黒く染まっているので、どんな容姿か誰にもわからぬ。

髪飾りのたくさん入った籠を抱えている。

体長 … 130~135cmほど

体重 … ???

口 … ロロロロ … ロロロ、ロロロロロ  
ロロ。

昔、貧しい暮らしの末、子供のために食料を手に入れることにいびれを切らした両親に殺された少女の靈。

少女は同じ年頃の娘が嬉しそうに素適な髪飾りをつけていたことをうらやましそうに見ていた。

当然髪飾りがほしいなど、口が裂けても言えない。いつもいつもうらやましかった。

夜中、暗い中を歩いていると、ふいに肩を叩かれる。気づいたときには髪についていたはずの髪飾りが消えている。うしろにいるのは黒くて小さい女の子。人間になにをするでもなく、今日も髪飾りを集めている。

両親に殺されたが、別に人や何かを憎んでいるわけではない。稀に、ごく稀に人を助けることもある。

よく花千鳥と遊んでいる。人ではないので、花千鳥も落ちつくようだ。



# 雪乗り兎

ゆきのりうさぎ

秋に頻繁に出没する生物。

雪うさぎに乗って現れるのだが、季節は秋：一体どこから雪が出てくるのやら  
本体のほうはかなり小さく、細い耳と赤・紅ぽい色の目をしている。

体長…雪乗り兎：52.7cm 雪うさぎ10cmほど

体重：100g

生息地域…広い地域に住んでいますが、人里には滅多に  
出てこない

雪乗り兎が人里におりてくると、その先数年は豊作になると  
何とかうさぎが流れていくが、本当のことは雪乗り兎も知らない。  
酒狸と仲がよく、よく会話で花を咲かせていく。人里におりてくる  
のは寂しそぎで酒狸と話したくなつたが、寂らが入つてゐる酒を  
探しに行こうとかそんなものである。

乗っているうさぎは  
自分で作つているらしい。